

# せたがや 町総連だより

## 第22号

発行 世田谷区町会総連合会  
世田谷区若林4-31-9  
ボライト第2ビル2F  
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 倉本俊幸  
編集情報誌編集委員会  
編集委員長 鈴木 誠

### 良好な地域社会の形成を

世田谷区町会総連合会

会長 倉本俊幸



新年明けましておめでと  
うございます。

町会・自治会の皆様には、  
つつがなく平成18年の新春  
をお迎えになられたことと  
お慶び申し上げます。

ここ数年、国内外では度  
重なる大型台風による風水  
害や地震により、多くの尊  
い人命が奪われ、甚大な被  
害もたらされております。

新潟中越地震で被災され  
た方々の状況を見えます  
と、地域の方々と互いに連  
携し、助け合い励まし合っ  
ておられます。改めて、地  
域での結束の重要性を認識  
させられたところであり  
ます。

これまで、町会・自治会

は、各地域での様々な課題  
を解決し、地域コミュニ  
ティの形成に大きな貢献を  
してきております。

さて、世田谷区町会総連  
合会が昭和45年に発足以来、

加入会員世帯は増加してお  
りますが、区全体の会員数  
は世帯数の増加ほど伸びて  
はおりません。

平成17年8月現在では約  
42万世帯のうち、25万世帯  
で約60%となっております。  
少子・高齢化や都市化が進  
むとはいえ、組織率の低下  
は良好な地域コミュニテイ  
の形成に少なからずとも影  
響が生じてくるものと思わ  
れます。

平成7年阪神淡路大震災  
の地震の被災者への救援活  
動等も隣近所の助け合いや  
連携が大きな力であったと  
いわれております。

これから、災害ばかり  
でなく、高齢者の孤立化、  
核家族の子育て支援や防犯  
活動など新たな地域住民同  
士の繋がりが必要ではない  
でしょうか。

このため、町会・自治会  
に現在加入されていない  
方々へのPR・勧誘を、今  
まで以上に呼びかけていき  
たいと考えております。

急速な高齢社会に移行し、  
社会環境は大きく変わって  
きておりますが、地域の人  
達が快適な社会をつくりた  
いとすする願いは変わりま  
せん。

安全で安心して住める快  
適な地域づくりの実現に向  
けて、今後も皆様のご理解  
とご協力をお願いいたしま  
すとともに、会員の皆様の  
ご健康とご多幸をお祈り申  
し上げます。

安全で安心して住める快  
適な地域づくりの実現に向  
けて、今後も皆様のご理解  
とご協力をお願いいたしま  
すとともに、会員の皆様の  
ご健康とご多幸をお祈り申  
し上げます。

### 目次

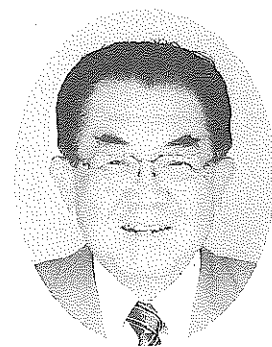
良好な地域社会の形成を	1
「魅力あふれる安全で安心なまち世田谷」の 実現に向けて	2
区で洪水ハザードマップ・地震防災マップを 作成・公表しました	2
地域情報	
砧地域 集中豪雨による水害の町会対応について	3
烏山地域 楽しかった町会行事	4
町会・自治会長交替のお知らせ	4
<行政情報>国勢調査のお礼	4

地域情報	
世田谷地域 自信をもって 自慢のできる町を目指して	5
新会長抱負	5
北沢地域 明るい住みよいまちづくりを目指して	6
新町会長として	6
玉川地域 ねこじゃらし公園(協働と自治)	7
新会長に就任して	7
町総連ニュース	8
町総連情報誌編集委員会名簿	8
編集後記	8

# 「魅力あふれる安全で

# 安心なまち世田谷」の実現に向けて

世田谷区長 熊本 哲之



新年明けましておめでとうございます。皆様には、新しい年をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。日頃より、区政運営にご理解・ご協力をいただきまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。世田谷区では、区政運営の基本的指針となる「基本計画」に基づき「実施計画」・「行政経営改革計画」による具体的な事業を効果的・効率的に進めているところと

さて、ここ数年、集中豪雨や台風の影響により、全国各地で多大な被害を被り、世田谷区でも床上浸水など大きな被害がありました。

区でも、いち早く初動態勢の強化を図っておりますが、昨年実施した総点検や皆様のご意見をもとに、3月の区議会で（仮）災害対策条例の制定を目指すとともに、防災から減災へと対策の転換を図ってまいります。

災害時には時に、ご近所同士の助け合いや連携が大きな力となっております。常日頃から、区民一人ひとりが防災意識を持ち、地域での防災訓練を通して、災害に備えておくことが重要であります。私は、関係機関と連携を強化しながら、区民の皆様とともに「犯罪ゼロのまち世田谷」を実現してまいります。引き続き、地域での防犯パトロールをお願いいたします。また、資源回収への協力、

清掃・美化活動、放置自転車対策、各種募金活動など町会・自治会の活動は、区政の全ての分野に亘ってご協力を頂いております。区といたしまして、町会・自治会の活動に対して、引き続き支援をしてまいります。

今後も、様々な区政の課題には、「対症療法型」から「予防型」行政へと転換を図り対応いたします。そして、誰もが世田谷区に住み続けることに喜びを感じられるよう、「安全で安心なまち世田谷」の実現に取り組んでまいりますので、皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、町会・自治会のご健勝、ご活躍と皆様方のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

区で洪水ハザードマップ・地震防災マップを作成・公表しました。

●世田谷区洪水ハザードマップ（多摩川版・全区版）

大雨により浸水が想定される区域や避難所、避難時の心構え等の情報を掲載したものです。これらのマップをご活用いただき、いざというときのために、自宅周辺の地理や避難所の位置を確認し、家族で避難時の行動を話し合っておくなど、日ごろからの備えをお願いいたします。

### 配布場所

世田谷区危機・災害対策課、総合支所地域振興課・街づくり課・土木課、出張所、まちづくり出張所

※区のホームページ「災害対策・安全安心」でもご覧いただけます。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/>

### 問い合わせ

世田谷区危機・災害対策課（543212265）

砧地域

# 集中豪雨による水害の

## 町会対応について

鎌田南睦会 会長 藤本 秀雄

9月4日(日)の夜、東京地方の西部地区に大雨が降り砧地域では1時間に89ミリの降雨があった。

私たちの町会は、世田谷区の南西部に位置し、北は国分寺崖線下で一級河川野川の最下流を挟んで両側に居住する正会員(1002世帯)及び企業者の賛助会員(17社)で構成し、南は多摩川で川崎市との行政境になっている。

この度集中豪雨による思いがけない野川と鎌田一・二丁目の一部区域と野川に流出している旧用排水路が溢水し、鎌田三丁目の一部

区域58戸が床上浸水の被害者となった。

当町内の野川整備工事は東京都が事業主体で平成9年度に着工し、現在継続工事中で完成は19年3月末予定となっている。

野川が溢水したのは9月4日22時20分頃で天神森橋から吉沢橋間(途中仙川との合流点がある)延長約900メートルのところを部分的に数箇所の護岸上から氾濫し住宅地に流出した。

場所によっては水深1メートル以上に達し、なかには外水圧で玄関のドアが開かず窓から脱出し避難し

た者もいる。

氾濫してから床上浸水まで15〜20分の一瞬であった。私も護岸上まで水位1メートル以下で危険であるとの一報を受け状況確認のため直ちに現場に急行したが、道路は冠水し膝下から15分程で腰くらいまでとなり、急遽近隣の家に声をかけ避難を呼びかけた。

同時に町会会館に町会役員を非常召集し、情報の把握・避難所(鎌田区民集会所・町会会館)の開設・避難の呼びかけ・避難者のお世話及び浸水した地下室のポンプ排水等を手分けして

実施した。

避難所については地震災害時の避難所関係との認識の相違で避難誘導時に混乱したが、最終的には鎌田区民集会所が今回の避難所となった。

同区民集会所には8世帯16人が避難し、区から毛布が届けられ一夜を明かした。避難時に一人が怪我をされ救急車で病院に搬送された。

翌朝(9月5日)町会婦人が炊き出しを行い食事を提供した。また鎌田四丁目コンビニエンスストアの地下室が浸水し、その排水のため徹夜で活動された消防団員にも炊き出しを行った。

翌朝避難者から家に帰りたいが、停電しており困っているとの要請を受け、早速東電に電話したところ他の地区にも被害があり、しばらく待つてほしいとのことであったが、午前7時頃復旧した。

9月5日から区の消毒作業・粗大ごみ等の収集が実

施された。

9月6日から鎌田区民集会所で、り災証明の発行・被災者の困りごと相談が行われた。

結びに、今回の水害に対し一義的に生命安全を考慮し、事故もなく初期の措置対応を町会で行ったが、いろいろな問題を勘案すると任意団体の町会では限界がある。区は今回の教訓を踏まえ研究、検討し、条件整備をする必要があると思つた。



烏山地域

# 楽しかった町会行事

千駄山町会 会長 甲斐 円治郎

世田谷区の北西部に位置する北烏山一丁目千駄山町会があります。古くからの住宅と新興住宅が混在し、子育て中の家庭から一人暮らしの高齢者まで、世帯状況は多様ですが、500世帯が加入しています。

平成13年の春から初夏にかけて連続放火事件があり、サラリーマンの方に帰宅時パトロールをお願いしたことから、防犯を通じて横のつながりが強固になりました。現在では、様々なイベントを通して「ふれあい・支え合い」のまちづくりに取り組んでいます。

今年はこの「地域コミュニティ活性化支援事業」の助成金をいただき、8月21日に烏山公園で「千駄山ふれあい広場」を開催いたしました。地域の人たちによる出店やアトラクションなどで、お祭りさながらの盛り上がりを見ました。

公園に万国旗のかわりに地域の子ども達が描いた、ぬり絵をつなぎ合わせて掲揚して参加意欲を高めました。

千駄山  
ふれあい広場  
烏山公園 8月21日 AM11:00~PM3:00

- ★ヨーヨーつり
- ★ポップコーン
- ★わた船
- ★顔書きゲーム
- ★ずいか割り
- ★ゲームコーナー

子ども達が高齢者の手を引きながら行うスイカ割り、高齢者が審査員となった子どもが大声コンテストなど、核家族化・高齢者単独世帯の増加といった地域の実情を踏まえた世代間の「ふれあい」を意識したプログラムを組みました。

子ども達が大声で「お父さんおはようございます!」「おばあさんお元気ですか!」など、大声を出した顔はとても良かったです。



ふれあい広場の元気な子どもたち

また、この大声を高齢者の方も耳の遠い方も一生懸命聞こうとして、心が弾む思いが伺えて、良い一日が過ごせたと思います。

## 町会・自治会長交替のお知らせ

町会・自治会名	新 会 長	前 会 長
下代田西町会	会長代行 榎本 徹	青木 弘
馬事公苑前ハイム管理組合	理事長 中尾 太郎	三島 太郎

### 行政情報

#### 国勢調査のお礼

世田谷区国勢調査実施本部

10月1日を基準に国勢調査が行われました。

調査に当たっては、町会・自治会から約6100名もの多くの調査員をご推薦戴きました。お陰さまで調査を無事終えることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

今回の調査は、17年4月に施行された個人情報保護法の影響や区民のプライバシー意識、また防犯意識の高まりなどにより、調査自体が非常に困難で調査員の皆様方には大変なご苦労をお掛けしました。

区には、調査員や区民の皆様等から様々なご意見が寄せられております。今後、戴きましたご意見を国に伝え、調査の改善を要望して参りたいと思います。

世田谷地域

# 自信を持つこと

## 自慢のびる町を目指して

若林町会 会長 根岸 茂

伝統ある文化と歴史をもつて誇れる我が町若林も、時代の変遷と共に様相も段々と変わってきており、町の中央を東西に分断した環状七号線、南北に分かれた世田谷線、烏山緑道といったように各々の街並みと生活環境が変わってきております。

生・環境保健・防犯・防災・交通の活動が行われております。

災まちづくり大賞 消防庁長官賞を受賞し、先進的な取り組みを学びたいと大阪府和田市、仙台東北福祉大学等各地から講演や見学の依頼があり、町会では可能な限り対応しております。

こうした中であって『自らの安全は自ら守る』の自助と『自分達のまちは自分達で守る』の共助の考えにたち、地域の連帯意識を高め心のふれ合う住みよいまちづくりを目指し様々な町会活動を行っております。

また将来発生が予想されている関東・東海地震に備え、家族や隣近所の交流を深め、お互いの協力で救護体制となる『いざという時のご近所同士による助け合いの仕組み』づくりを各丁目毎のネットワークとして発足しました。

環状七号線の東側、緑道を挟んで一丁目・二丁目、西側の世田谷線、緑道を境に三丁目・四丁目・五丁目と区分されており、世帯数も約1万7000と比較的大きな町となっております。

○防犯パトロール 毎週土曜日(地区によっては第一月曜・第三金曜日)

○防災教室の実施  
○町会全域の防災フェア  
○全国各地域安全運動(防犯、交通)

町会の行事として  
○緑道清掃(毎月)  
○盆踊り大会(7月)  
○ラジオ体操(8月)  
○若林稲荷神社の例大祭(9月)  
○敬老会(10月)

○その他各講演会の実施、研修会の参加  
各部会が積極的に活動を行っております。  
特に防災に関しては『防

○敬老会(10月)  
部(総務・財務・文化・厚

『各丁目ネットワークの主な活動』

- 平常時にはコミュニケーションを深めるため活動しております。
- (一)防犯活動を通じて、より安全なまちづくりについて
- (二)青少年の健全育成について
- (三)資源リサイクル活動と環境美化、健康づくりについて
- (四)災害時の活動に備え、実践的な『防災教室』を行う
- 災害時の主な活動
- (一)地域での初期消火活動を行い、延焼防止に努める
- (二)倒壊家屋からの救出、救護を行う
- (三)住民同士の安否確認をする
- (四)お年寄り、障害のある方などの避難誘導をスムーズに行う

このように若林町会では、これからのまちづくりを住民のニーズにこたえながら子どもからお年寄りまでが安心して住める、安全で健康的でそして人に優しい楽しみのあるまちにするよう、これからも頑張っていきたいと思っております。



防災教室の訓練風景

## 新会長抱負

三軒茶屋町会 会長 中村 忠明

この度、三軒茶屋町会長をお受けすることになりました。町会は創設73年目を迎えますが、町の様子が変わり、狭小マンションの増加やファミリー層の減少で町会協力者も少なくなり、

今後の町会運営が困難になるのが悩みであります。三軒茶屋駅周辺の沿道には常に放置自転車が増え、通行の妨げとなっております。また、最近では、殺人や窃盗など、

ど残忍でぶっそうな事件が毎日のように報道され、心を痛めています。安全で安心なまちづくりを目指して、これらの解決に努めてまいりたいと考えています。

北沢地域

明るい住みよいまちづくりを目標として

下代田西町会 会長代行 榎本 徹

下代田西町会は、滝坂街道(淡島通り)の旧道の北西部、もと下代田西地区(代沢三・四丁目、三宿二丁目、池尻四丁目)それぞれの一部)の地域から成り立っています。

町会は会員の相互理解と親睦を図り、明るい住みよいまちづくりを目的としています。世帯数は約600世帯で殆どが住宅地です。

町会は、総務・防災・防犯・交通・環境・厚生・青年・女性・祭典の9部から組織されています。少子高齢化が進む中で、いかに町会の活動をより一層活性化していくか、役員会などで話し合いをしています。

会員の連帯感を深め、活性化を進めるために、秋の祭礼を盛大に開催し、大人神輿や子ども神輿、そして町内に山車を巡行させ、併せて代沢せせらぎ公園では縁日を開いています。

また、公園で世田谷区の

無形民俗文化財である三土代会(かつて、代田には代田本村・中原・下代田の三つの集落があり、これらもとに名付けられました)による餅つき大会や、バザーを行うなど多くの会員が参加し賑わっています。

安全・安心な住みよいまちづくりを推進するために、年間計画を立て、会員の協力のもとに行事や活動を実践してきました。

今日、防災・防犯は大きな社会問題となっており、積極的に防災訓練を行っています。町会では区民防火隊や女性防火の会を編成し、可搬式D型ポンプを使って定期的に訓練も行っています。

年末年始の夜警のほか、年間を通し、一日おきに二人一組となり防犯パトロールを行っています。さらに、北沢警察署と協力し交通安全に努め、このたび交通安全

故防止寄与団体賞の感謝状を受賞しました。

また、町内の環境美化のうえから、ごみの分別や減量、リサイクル活動を啓蒙し、カラスの被害防止対策に取り組んでいます。福祉や講習会などの文化的活動も実践しています。

これらの行事や活動を通

新町会長として

代沢五丁目町会 会長 望月 喜 昭

新米町会長として船出をすることになりました。

私は、近年各地で多発する地震等の自然災害時、住民全体が速やかに避難し協力し合えるような、地域密着型のまちづくりを目指します。そのため、何時発生するか分からない災害対策として、地区の防災訓練に一人でも多くの住民に参加していただき応急救助・初期消火・避難等の諸訓練を

実際に経験してもらい各自

して、年々若い人達の協力や参加が増えてきており嬉しく思っています。これらの町会の活動を推進するため、役員会を毎月開催し、回覧版を月2回発行して、地域の行事や情報をお知らせしています。

また、日本赤十字社や社会福祉協議会などの活動に協力しています。

これからも地域や会員の協力・連携を一層深め、明るい住みよいまちづくりを目指していきたいと考えて

緊急時に備えていたただきたいと思っております。

また、まちづくり出張所管内の楽しい行事に住民と共に参加します。毎年9月に行われる当地の北澤八幡神社秋季例大祭は、代沢五丁目睦会の山車・大人神輿・子ども神輿が町内を巡行し住民の方々とともに楽しんでおります。

この秋季例大祭には、代沢五丁目睦会のほか七睦会が大人神輿八基・子ども神

います。



三土代会による餅つき大会

輿十数基・山車八台で連合渡御が盛大に行われます。是非お出かけください。

最後になります。役員が先頭に立ち地域住民と共に安心して暮らせ、またいろいろな行事を通じて住民相互が協力し楽しく過せるまちづくりを目指し所存であります。

今後ともよろしく願いいたします。

玉川地域

# ねこじやらし公園(協働と自治)

九品仏自治会 副会長(グループねこじやらし) 白 勢 見和子

九品仏浄真寺の西側、墓地に隣接して区立「ねこじやらし公園」があります。遊具は何一つなく、木立と緩やかな斜面と小さな流れとがあるだけの原っぱです。

平成6年に開園したこの公園は、公園づくりの第一歩から住民が自ら係ることを望み、まちづくりセンターなど専門家の援助を得てワークショップを5回も重ねて、行政と共に作り上げました。

公園がどのような環境の中に位置しているのか、どのような公園が望まれているのか、様々な人の立場になって公園の使われ方を考えたり、はたまた限られた予算の中で必要なもの、優先位を考えるとということもしました。

ふくらむ夢を追うだけでなく、現実を知って話し合い折り合いながらの協働作業だったと記憶しています。

開園してからの日常の管理は、ワークショップに参加していた数人が、当時のPTA仲間たちと立ち上げた「グループねこじやらし」が行っています。メンバーの入れ替わりはありますが、その活動は今に続いています。

区と管理協定を結び、清掃や草刈り、花壇の手入れなどをしますが、大勢の人が利用する公園ではいろいろなことが起こります。

開園当初はオートバイの乗り入れや、たき火、ひどい落書きなどもありそのたびに頭を痛めました。公園を巡るこれらの出来事は、地域の皆さんにも考えていただきたいと、毎月発行している「ねこじやらし紙」に載せました。

散歩の犬を巡るトラブルもありましたが、これは公園内に設置した伝言板でのやりとりを通じて「ワンワ

ン会議」という飼主たちのグループができ、現在もしつけ教室や啓蒙活動をしています。

グループねこじやらしの定例会では、六つに分かれたグループが輪番でやっている作業の報告や、全体で行う作業の予定、公園を巡るあれこれを話し合っています。

年2回行う公園全体の草刈りは、土木公園管理事務所の方々との協働作業です。お互い立場は異なるのですが、作業を介して気心が知

町会長に就任して半年、行政のご指導と等々力地区各町会長皆様の温かいご支援のもと、ようやく進むべき方向が見えて参りました。

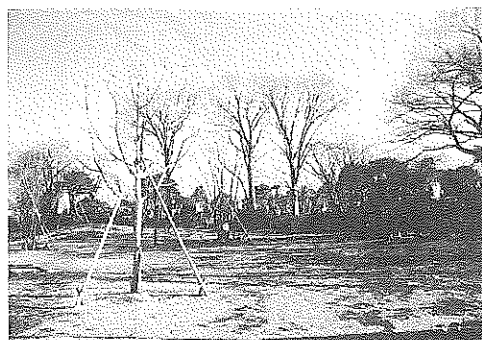
れ、今では相談できるいいパートナーです。くさつばらは、木々と共に四季折々の表情を醸し出します。芝生のように整った美しさはありませんが、自然の営みをそのままに感じさせてくれます。

開園当初ぼうぼうの草の中にいれずにいた子ども達も今は臆すことなく、草も遊びの材料になっています。「ここはええなあ、命が循環しとる」

「私が死んでもこの営みは続くのね」こんな哲学的な言葉を発したのはホームレスやおばさんです。

草刈りが終わった公園では、枯れ芝の茶色とオオバコの

緑が地面を染め分け、子ども達が駆け回り、散歩途中のお年寄りがベンチで休んでいます。ここは大都会のささやかなオアシスのようにも見えます。



ねこじやらし公園

## 新会長に就任して

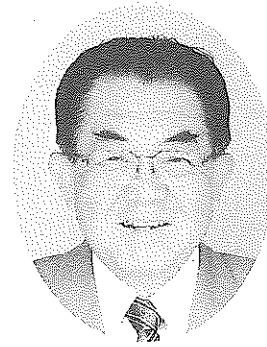
尾山台クラブ 会長 柏木 温子

218世帯と小さな町会ですが、利点は住民の声が届きやすく、役員を中心に和が保たれていることです。住みよいまちづくりに必要な

情報を発信すると共に、会員が丸となる環境を常に考えていきたいと思っております。

# 「魅力あふれる安全で

# 安心なまち世田谷」の実現に向けて



世田谷区長 熊本 哲之

新年明けましておめでとうございます。皆様には、新しい年をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。日頃より、区政運営にご理解・ご協力をいただきまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

世田谷区では、区政運営の基本的指針となる「基本計画」に基づき「実施計画」・「行政経営改革計画」による具体的な事業を効果的・効率的に進めているところと

さて、ここ数年、集中豪雨や台風の影響により、全国各地で多大な被害を被り、世田谷区でも床上浸水など大きな被害がありました。

区でも、いち早く初動態勢の強化を図っておりますが、昨年実施した総点検や皆様のご意見をもとに、3月の区議会でも(仮)災害対策条例の制定を目指すとともに、防災から減災へと対策の転換を図っております。

災害時には時に、ご近所同士の助け合いや連携が大きな力となっております。常日頃から、区民一人ひとりが防災意識を持ち、地域での防災訓練を通して、災害に備えておくことが重要であります。

私は、関係機関と連携を強化しながら、区民の皆様とともに「犯罪ゼロのまち世田谷」を実現してまいります。引き続き、地域での防犯パトロールをお願いいたします。また、資源回収への協力、

清掃・美化活動、放置自転車対策、各種募金活動など町会・自治会の活動は、区政の全ての分野に亘ってご協力を頂いております。区といたしまして、町会・自治会の活動に対して、引き続き支援をしてまいります。

今後も、様々な区政の課題には、「対症療法型」から「予防型」行政へと転換を図り対応いたします。そして、誰もが世田谷区に住み続けることに喜びを感じられるよう「安全で安心なまち世田谷」の実現に取り組んでまいりますので、皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、町会・自治会のご健勝、ご活躍と皆様方のご健康、ご活躍をお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

区で洪水ハザードマップ。  
地震防災マップを  
作成・公表しました。

●世田谷区洪水ハザードマップ(多摩川版・全区版)  
大雨により浸水が想定される区域や避難所、避難時の心構え等の情報を掲載したものです。

これらのマップをご活用いただき、いざというときには、自宅周辺の地理や避難所の位置を確認し、家族で避難時の行動を話し合っておくなど、日ごろからの備えをお願いいたします。

●世田谷区地震防災マップ(揺れやすさマップ)  
区を震源とする直下型地震(マグニチュード6・9、震源の深さ約10kmを想定)が発生した場合に予想される地域ごとの揺れの大きさや建物被害の程度のほか、区の耐震促進施策等を掲載したものです。

配布場所  
世田谷区危機・災害対策課、総合支所地域振興課、街づくり課・土木課、出張所、まちづくり出張所

※区のホームページ「災害対策・安全安心」でもご覧いただけます。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/>

問い合わせ  
世田谷区危機・災害対策課(5432-2265)